



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



郡築小ホームページ

学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R7,10,21 No.20

就学時健康診断を行いました

10月2日(木)の午後から、来年度入学予定者を対象とした「就学時健康診断」を行いました。

当日は、子供たちが健康診断などを受けている間に、保護者の皆様を対象とした「親の学び講座」を、熊本県八代教育事務所社会教育主事の俣嶋様を講師にお招きして開催しました。

保護者の皆さんは、子育ての悩みや苦勞などについてグループ内で話す中で、共感したり、参考になる意見や知識を得たり、子育てを振り返る機会となったり、勇気づけたりされたようで、時間の経過と共に笑顔で話をされる方が増えていきました。最後には、俣嶋様から子育てに係るアドバイスもいただき、大変有意義な講座になったことと思います。

また、この就学時健康診断では、5年生の子供たち十数人がボランティアとして、入学予定の園児を各検診・検査場所へ確実に誘導したり、その他のことにも丁寧に関わったりして大活躍でした。



標準服に長ズボンを加えました

この度、既存の標準服に「長ズボン」(紺色)を加えました。目的は、「選択の自由が保障されることで、学校生活の不安を解消できる」ことや「性別にとらわれず標準服を選べることで、固定観念にとられないスタイルを実現できる」ことです。

この「長ズボン」は、標準服扱いとしますので、(既存の標準服同様に)見学旅行や修学旅行、入学式、卒業式などの学校行事でも着用できます。また、ジャージ素材ですので、運動時にも着用できます。

この長ズボンの導入を機に、すべての子供が不安なく、学校生活を心の底から楽しんでほしいと願っています。

児童集会で運営委員会が「あいさつ」などの普及を呼びかけました

10月7日(火)、集会日課で生み出した20分間を使い「児童集会」を行いました。今回は、運営委員会が、よりよいあいさつの仕方と感謝の心の表し方について、ロールプレー(役割演技)を通して全児童へ呼びかけました。

ロールプレー後の感想交流では、「相手の目を見てあいさつしたい」「自分からあいさつしたい」、「はっきりと言いたい」、「止まってくれたドライバースに気持ちのいいあいさつをしたい」などが出されました。子供たちの変容に期待しています。

その後、先日行いました「第1回タイピング大会」の上位入賞者の表彰を行いました。



6年生が中学校体験入学に行ってきました

10月7日(火)の午後から、6年生は「中学校体験入学」のために、第七中学校へ行きました。

子供たちは、英語と音楽の授業を体験したり、(多くの子供が中学校で同級生となる)昭和小学校の子供たちと交流したりして、楽しかったようです。この体験を通して、中学校入学に対する期待や喜びが大きくなったことと思います。第七中学校の校長先生をはじめ職員の皆様のご尽力に心より感謝します。

